

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドビッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2018/4/15	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	株式会社パイブドビッツ	
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2000年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		18年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都港区赤坂2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル2F (〒107-0052)
	事業所数(国内、国外)		国内: 6 国外: 0		
	主な事業所の所在地		東京都(1ヶ所)、大阪府(1ヶ所)、福岡県(1ヶ所)、北海道(1ヶ所)、愛知県(1ヶ所)、京都府(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要 事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	当社は、「情報資産の銀行」を事業コンセプトに、法人のお客様から情報資産を安全にお預かりし、有効活用していただくサービスを提供しながら、情報生活の質の向上に貢献しております。	
- 人材					
6	経営者	代表者氏名	必須	代表取締役社長 CEO 林 哲也	
		代表者写真		記述無し(*)	
		代表者年齢	選択	記述有り(*)	
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		記述有り(*)	
7	役員	役員数	選択	記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名		記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	選択	記述有り(*)	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	
10		経常利益	選択	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	
11		資本金	必須	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	
12		自己資本比率	選択	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	
15	財務信頼性	上場の有無	選択	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	
16		財務監査・財務データの状況	選択	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	
17		決算公告	選択	決算公告の実施の有無	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドビッツ

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述無し(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述無し(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	上記の文書類の経営陣による承認の有無	必須○	情報セキュリティ基本方針、個人情報保護規程、情報セキュリティ委員会規程、文書管理規程、情報セキュリティガイドライン、個人情報保護マニュアル
					有り
25	文書類	勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	上記の文書類の経営陣による承認の有無	必須	有り: スパイラル利用規約、事件・事故対応計画、サービス運用ガイドライン(スパイラル)
					有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドピッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須 選択	申請内容
-	サービス基本特性			
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	スパイラル
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2000/10/1
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリ ニューアル年月日(西暦)		2001年09月 スパイラルVer 1.28リリース フィールドタイプの拡充など 2001年12月 スパイラルVer 1.3リリース マイエリア機能の追加など 2002年05月 スパイラルVer 1.5リリース クリックレポート機能を追加など 2002年09月 スパイラルVer 1.6リリース 登録ページ機能を大幅に強化など 2003年01月 スパイラルVer 1.7リリース DBの抽出条件機能を大幅に強化など 2003年08月 スパイラルVer 1.8リリース クリックカウントの一括設定機能の追加など 2003年09月 スパイラルVer 1.8 マルチアカウント機能を追加 2004年04月 スパイラルVer 1.8 ステップアンケート機能を追加 2004年09月 スパイラルVer 1.8 クラウド認証機能を追加 2006年01月 スパイラルVer 1.9リリース 電子署名付きメール配信機能の追加など 2007年12月 スパイラルVer 1.10リリース 仮想DB機能、フォーム管理機能の追加など 2008年08月 スパイラルVer 1.10 担当者ID機能を追加 2008年10月 スパイラルVer 1.10 テコメール配信機能を追加 2008年11月 スパイラルVer 1.10 個人情報閲覧不可ID機能、オプトイン記録保管サービスの追加など 2009年04月 スパイラルVer 1.10 サービス名称変更とロゴ制定、スパイラルシール機能の追加 2009年07月 スパイラルVer 1.10 RDB(DB連携・仮想DB(連携型))機能の追加など 2009年08月 スパイラルVer 1.10 一覧表・単票機能、GPSロケーションマッチ機能の追加など 2009年09月 スパイラルVer 1.10 スパイラルガジェット「みんなの声を集めてレビュー」機能の追加など 2009年11月 スパイラルVer 1.10 データベースの作成およびデータ登録機能の拡張など 2010年04月 スパイラルVer 1.10 「画像型フィールド」「こころの健康診断」、認証APIの追加など 2010年09月 スパイラルVer 1.10 掲示板、ファイル優、「ならべて見せようアンケート」の追加など 2010年12月 スパイラルVer 1.10 DKIM、集計表、グラフの追加など 2011年04月 スパイラルVer 1.10 トランザクションDB、不動産反響取込の追加など 2011年07月 スパイラルVer 1.10 スパイラルAPI、名刺登録、スパイラルCORPASなど 2011年09月 スパイラルVer 1.10 マイエリアの安全性向上など 2011年10月 スパイラルVer 1.11 PHP対応、プラットフォーム連携、携帯メール配信機能改善など 2012年04月 スパイラルVer 1.11 ファイル型フィールド、仮想DB(集合型)、一覧表編集、リッチテキスト編集機能の追加など 2012年07月 スパイラルVer 1.11 スマートフォン向けアプリ開発環境の提供、アクセス解析機能の強化、SPRAL(R)シャリンの追加など 2012年11月 スパイラルVer 1.11 アプリ、PDF帳票、携帯向け夜間配信の停止・実行設定機能の追加など 2013年03月 スパイラルVer 1.11 スマートフォン向けアプリ開発環境の強化、スパイラルアプリセンター、カスタムモジュールの追加、Passbookバス発行機能追加など 2013年08月 スパイラルVer 1.11 演算トリガ、ロックアップトリガ、Passbookバス更新、PIRAL(R)シャリン照会機能追加など 2013年09月 スパイラルVer 1.11 高エラー配信強制中止機能追加など 2013年11月 スパイラルVer 1.11 配信API強化など 2014年01月 スパイラルVer 1.11 ログの保持期間延長など 2014年05月 スパイラルVer 1.11 STOPデータベース機能追加、マイエリア機能追加、API機能追加など 2014年07月 スパイラルVer 1.11 iPhoneアプリ)DBオペレーターのOS対応など 2014年09月 スパイラルVer 1.11 マルチデバイス用フォーム作成機能追加など 2014年12月 スパイラルVer 1.11 DB機能改善、マイページ機能改善、名刺登録機能改善など 2015年02月 スパイラルVer 1.11 送信メイン認証技術「DMARC」対応、SSL3.0の脆弱性「POODLE」対応など 2015年04月 スパイラルVer 1.11 単票機能改善 2015年07月 スパイラルVer 1.11 操作画面リニューアル変更、バッチ処理機能追加、一覧表XSLT対応など 2015年12月 スパイラルVer 1.11 テンプレートアプリ公開など 2016年06月 スパイラルVer 1.11 スパイラルAPI ファイル型URLプロトコル変更など 2016年10月 スパイラルVer 1.12 OS、ミドルウェア(基盤)の性能・セキュリティ強化など 2017年06月 スパイラルVer 1.12 配信メール番号化(STARTTLS)対応など 2017年08月 スパイラルVer 1.12 PHP7.1対応など 2017年11月 スパイラルVer 1.12 Webアクセスコントロール機能追加など 2018年02月 スパイラルVer 1.12 履歴DB機能追加など
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	スパイラルは、人事から営業、開発のような様々な業務や、花屋さんから銀行のような幅広い業種でご利用いただける情報資産管理プラットフォームです。 データベース、Web、メールを中心とした多彩な機能を備えており、これらの機能を組み合わせることで、様々なアプリケーションを設計することができます。現場の「主役」であるお客様の知見を活用し、次のような、お客様ひとり一人に合わせたソリューションを実現しています。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無し
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	有り:別途個別に協議し決定する。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	スパイラル利用規約を変更する場合は、ユーザーに1ヶ月前までに通知します。 サービスの提供を終了する場合、終了日の1年前までにユーザーに対して通知するものとします。
		告知方法		電子メール、FAXまたはスパイラル操作画面上での表示
33	サービスの 変更・ 終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し: 当社のリスク管理の方針が事業継続を前提としているため。
		基本方針に沿った具体的なユーザーへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し: 当社のリスク管理の方針が事業継続を前提としているため。
		契約終了時の情報資産(ユーザーデータ等)の返却責任の有無		有り: ユーザが当社サービス内に蓄積する情報資産は、ユーザが引き揚げます。データ引き揚げ猶予期間はサービス終了後7営業日です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドビッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有り:株式会社パイブドビッツ ユーザーズデスク 受付時間: 平日 10:00~18:00(12/28~1/3を除く)
35		課金方法	必須	トランザクションDB機能、名刺登録機能について、月次利用量を測定し、利用量に基づき課金
		固定部分の課金方法		契約レコード件数に応じた月次利用料金及びオプションサービス料金
36	サービス料金	料金体系	必須	100,000円(最低初期費用金額)~ その他構築支援の各種オプション有り。
		初期費用額		25,000円(最低月次利用基本金額)~ その他オプション月額利用料。
		月額利用額		有り:6ヶ月
37		解約時ペナルティ	必須	有り:利用期間満了までの利用料金が課金されます。
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	有り: 利用期間満了の1ヶ月前まで
39		サービス稼働設定値	必須	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値 99.99%(第18期:2017年3月1日から2018年2月28日年間実績)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値 パターン1、対策参照値99.5%以上		
		サービス停止の事故歴 第18期:2017年3月1日から2018年2月28日年間実績:障害9件、緊急メンテナンス4件		
40		サービスパフォーマンスの管理	選択	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法) 記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法) 記述有り(*)		
41		サービスパフォーマンスの増強	選択	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要 記述無し(*)
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称 記述有り(*)
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報を収集する際には、予め利用目的を明示し、同意を得てから個人情報の収集を行なっています。また、利用目的を当社Webサイトに公開しています。
44		脆弱性診断	選択	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等) 記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに) 記述有り(*)		
45		バックアップ対策	必須	バックアップ実施インターバル 1日1回
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	14世代
46		バックアップ管理	選択	バックアップ確認のインターバル 記述無し(*)
47		受賞・表彰歴	選択	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドビッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	必須	利用規約にて品質保証を定める
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述有り(*)
50		代理店数	選択	記述無し(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	スパイラル
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	スパイラル®は、データベース、Web、メールを中心とした多彩な機能を備えており、これらの機能はユーザー様の声を取り入れながら、今も続々と追加されています。この機能を組み合わせることで、「メールマガジン」や「給与明細書電子化」、「お問い合わせ管理」など様々なアプリケーションを設計し、お客様ひとり一人のソリューションを実現しています。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	株式会社パイブドビッツ(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	記述無し(*)
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション: 5分 プラットフォーム: 5分 サーバ・ストレージ: 5分 情報セキュリティ対策機器: 5分 通信機器: 5分
		障害時の利用者への通知時間	必須○	1時間以内
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56	時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57	セキュリティ	ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェック: 有り 各プログラムによるサービスが提供するファイルに対する内容精査および実行制御、ファイル管理レベルに応じて適宜ウイルス検知ソフトウェアを導入することによってウイルス対策を実施しています。さらに、メール配信機能における添付の制限、Webコンテンツ出力時の特殊文字のサンタイジング処理等の出力通信制御によって、サービス全体を通して総合的にウイルス感染リスクを低減するよう努めています。また、これらの対策において、感染経路上の全てのサーバプログラムについて、ウイルスに対する脆弱性に関するパッチリリースの最新情報を常に把握し、迅速に対応する体制を敷いています。
58	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得: 有り 保存期間: 管理画面のログインおよびログアウト履歴 1年、データベース操作履歴 1年
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	セキュリティパッチの適用については、ベンダーリリース後速やかにサービスリスクを管理する機関においてその影響範囲を特定し、その影響範囲に応じて対応を決定しています。なお、緊急を要する場合は、直ちに対策会議を開催し対応を検討しています。
- ネットワーク				
60	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット オプションとして専用線またはVPN
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	当社の管理管轄外であるため、責任は負いません。
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し
	回線	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	操作画面 端末やOSの制限は特にありません。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドピッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	推奨端末	利用するブラウザの種類	必須	操作画面 ・Windows版 GoogleChrome (最新バージョンのテストおよびサポートに努めています) ・Windows版 Firefox (最新バージョンのテストおよびサポートに努めています) ・Windows版 Edge (最新バージョンのテストおよびサポートに努めています) ・Windows版 Internet Explorer11 ・Mac版 Safari11 (Safari9 - 11)
63	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り
65	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述無し(*)
66	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67	ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID・パスワードによる認証 IPアドレス制限(オプション)、クライアント認証(オプション)
68	管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	管理者権限運用管理手順有り
69	なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り: デジタル証明書発行
70	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	記述有り(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	データセンタ1: 否 データセンタ2: 専用建物
72		所在地	必須	日本・関東地域
73		耐震・免震構造	必須	データセンタ1: 震度7 データセンタ2: 震度6強(重要度係数1.25) データセンタ1: 有り(免震構造) データセンタ2: 無し(耐震構造)
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	有り 電力供給時間: 非公開(データセンターに対する守秘義務による)
75		給電ルート	必須	否: 全二重系統電源の冗長構成あり
76		非常用電源	必須	有り 連続稼働時間の数値: 非公開(データセンターに対する守秘義務による)
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	有り: 特殊ガスによる消火
78		火災感知・報知システム	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	有り
80		誘導雷対策	必須	有り: 対応電圧は非公開
81	空調設備	十分な空調設備	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0008-0805, サービス名称: スパイラル, 事業者名称: 株式会社パイブドピッツ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須 / 選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有り: 2年間
				有り: データセンター内にて24時間365日稼働、データセンター内を監視、映像の保存期間: 非公開(データセンターに対する守秘義務による)
				有り
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
		保管管理手順書の有無		有り
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	必須○	緊急時連絡先: <a href="https://www.pi-pe.co.jp/trouble">https://www.pi-pe.co.jp/trouble</a>
				無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	土曜日、日曜日、国民の休日を除く平日であって、毎年1月1日から1月3日まで、12月28日から12月31日までの各期間を除くもの。
		メンテナンス実施時間		その都度2週間前までにユーザーに通知します。障害検知時等緊急の場合はこの限りではありません。
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	記述無し(*)
		放棄率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	本件サービス(スパイラル)
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、サポートサイト、サービス説明会(セミナー)
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	データベースサーバーは、RAIDシステムを採用しています。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	2週間前までに停止の目的、停止期間を通知
		告知方法		電子メール、FAXまたはスパイラル操作画面上での表示
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93		定期報告	必須	有り(全ユーザーへ月1回報告)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
 (\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。